

若山牧水みなかみ紀行歌合せ大会

短歌草野球 in みなかみ 2026



16
チーム
募集!

※ 16 チーム以上応募があった場合には、審査員による作品書類選考で出場チームを決定します。

◆ 趣旨・目的

若山牧水みなかみ紀行歌合せ大会は、大正7年と大正11年にみなかみを訪れ、紀行文『みなかみ紀行』を著した歌人・若山牧水を顕彰するとともに、短歌の裾野を広げて文化振興に寄与することを目的とします。

◆ ゲームの内容

短歌甲子園は高校生が対象ですが、短歌草野球は年齢に関係なく誰でも参加できます。平安時代から伝わる歌合(うたあわ)せをもとに、チームで短歌を出し合い、ディベートを通じて作品の優劣、表現力や感性などを競います。

◆ 主催/主管

主催 みなかみ町教育委員会 / 主管 若山牧水みなかみ紀行歌合せ大会実行委員会

◆ 開催日時

令和8年(2026)8月1日(土) 10:00~16:30(予定)

◆ 会場

群馬県みなかみ町カルチャーセンター 群馬県利根郡みなかみ町上牧 1735

◆ 審査員



歌人 田村 元 * たむら はじめ
りとむ編集委員。歌集『北二十二条西七丁目』、『昼の月』。「NHK短歌」2021年度選者。群馬県桐生市出身。



歌人 高橋 千恵 * たかはし ちえ
りとむ短歌会所属。歌集『ホテルがあるよ』。平成27年、歌会始の儀入選。群馬県みなかみ町出身。



ラッパー NAIKA MC * ナイカ エムシー
2016年 ULTIMATE MC BATTLE (MC 全国大会) で優勝したほか、数多くの MC バトルに入賞。群馬県みなかみ町出身。

◆ 参加要件

○ チーム編成は2人とし、年齢・性別・在住地等は特に問いません。参加費は無料です。

○ 参加申し込み後、大会使用作品を次の要領で期日までに大会事務局へ提出してください。

*2人とも提出・・・題詠「水」、「月」

*どちらか1人提出・・・題詠「新」、自由詠

(1チームにつき6首提出していただくことになり、7月1日以降に全参加チームへ作品を公表します。)

*提出期限 令和8年6月30日(火)

*提出方法 メール、郵送、FAXでみなかみ町教育委員会生涯学習課へ提出

○ この大会はスポーツマンシップに則り、誠意をもって競技していただきます。競技中は言葉と忠実に向き合いながらも相手を敬う気持ちを忘れずにプレイしましょう。

◆ 参加申込

はじめに二次元コードからチームの参加申し込みをしていただき、6月30日までに大会使用作品を提出してください。そのほか、みなかみ町ホームページ【文化・スポーツ欄】にも参加申込票、作品投稿用紙を掲載する予定です。



【参加申込】



【作品投稿】

◆ 事務局 / 問い合わせ先

みなかみ町教育委員会生涯学習課

電話 0278 (25) 5025

FAX 0278 (62) 0632

office-kyo-syo@town.minakami.gunma.jp

〒379-1305 群馬県利根郡みなかみ町後閑 321-1

◆ 使用作品について

競技は16チーム（予定）のトーナメント戦で行います。第4試合まで行い、それぞれで使用する短歌は次のとおりです。

第1試合・・・自由詠一作品（作品①・チームのどちらかの作品）

第2試合・・・題詠「新」一作品（作品②・チームのどちらかの作品・①とは別の選手）

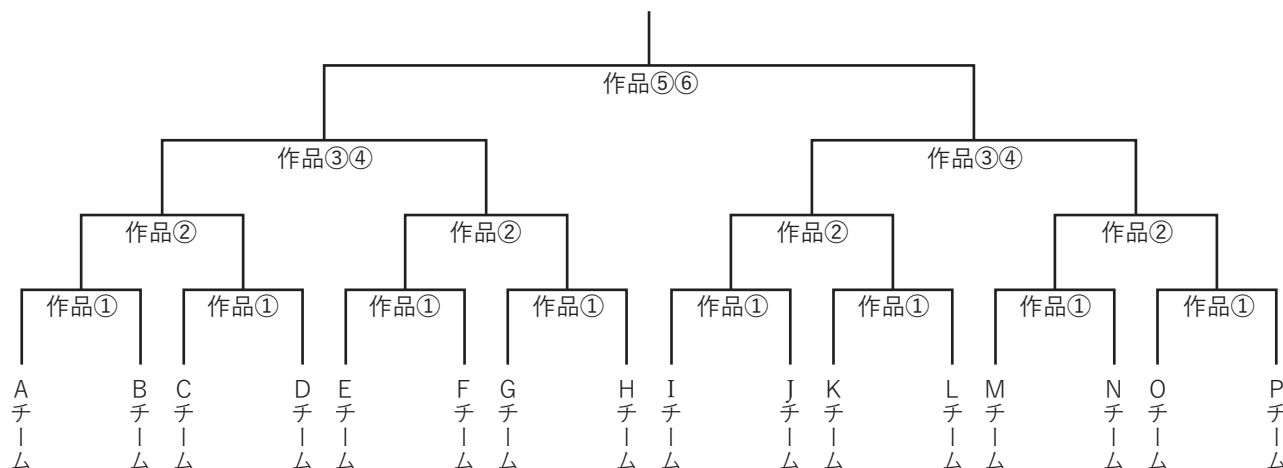
第3試合・・・題詠「月」二作品（作品③④）

第4試合（決勝戦）・・・題詠「水」二作品（作品⑤⑥）

以上のように1チームにつき短歌6作品が必要になります。作品はチームの参加申込とは別途、6月30日までに大会事務局へ提出してください。提出方法はメール、二次元コード、郵送、FAXです。提出された作品は、とりまとめのうえ参加チームへ公開します。

※ 使用する短歌は未発表作品に限ります。

※ AIの使用は認めません。



◆ 競技手順

○制限時間は司会者が指示してからの時間とする。

○発言者は立ち上がってマイクを使って発言する。

○発言中に制限時間をむかえた場合（チャイムが鳴った場合）は、急ぎ数秒でまとめて発言をやめる。ただし、著しく延長する場合は、減点対象とする。

【第1試合（作品①）】

1 両チーム入場後、代表者がジャンケンして先攻、後攻を決める。

2 先攻1番手が自分の作品を二度朗詠する。

3 先攻2番手が作品を解題、良いところをアピールする。（1分間）

4 後攻1番手が講評・質問をする。マナーとして最初に作品の良い点をあげてから質問をする。（1分間）

5 先攻2番手が回答する。（1分間）

6 後攻1番手が2回目の質問をする。（1分間）

7 先攻2番手が回答する。（1分間）

以上で1回の表が終了。続いて1回の裏として、先攻と後攻を入れ替えて2～7を繰り返す。

【第2試合（作品②）】

第1試合の1～7を、1番手と2番手を入れ替えて対戦する。

【第3試合（作品③④）・第4試合（作品⑤⑥）】

第1・2試合の手順を選手を入れ替えて対戦する。

◆ 審判・審査基準について

○採点は、作品、解題、質問、回答に対して審査員自身の判断で行う。

○選手の発言で素晴らしい、優れていると感じられた表現、的確な解釈や意見が出た際には、審判は「いーだんべえ」のうちわを上げ、得点対象とする。

○一方的な意見や無理のある内容、共感できない発言や意味がわかりにくい意見・質問等が出た際には、審判は「あ～ね」のうちわを上げ、減点対象とする。